

9. 計画の進捗管理

9-1 各種指標の変化

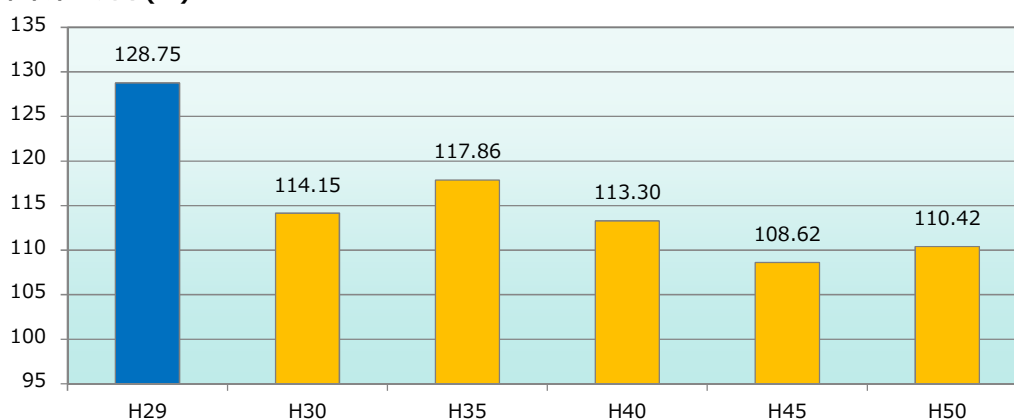
前述で示した投資・財政計画を推進した場合、施設や経営に関わる代表的な指標がどのように変化するかを整理します。

① 経常収支比率 (%) : 望ましい向き「↑」

経常収支比率は、100%を超えているものの、経年的に減少していく見通しです。

▶ 今後は、経費削減に努めると共に、事業と経営収支のバランスを考慮した経営を行い、50年、100年先を見据えた持続的な事業運営を行っていく必要があります。

経常収支比率(%)

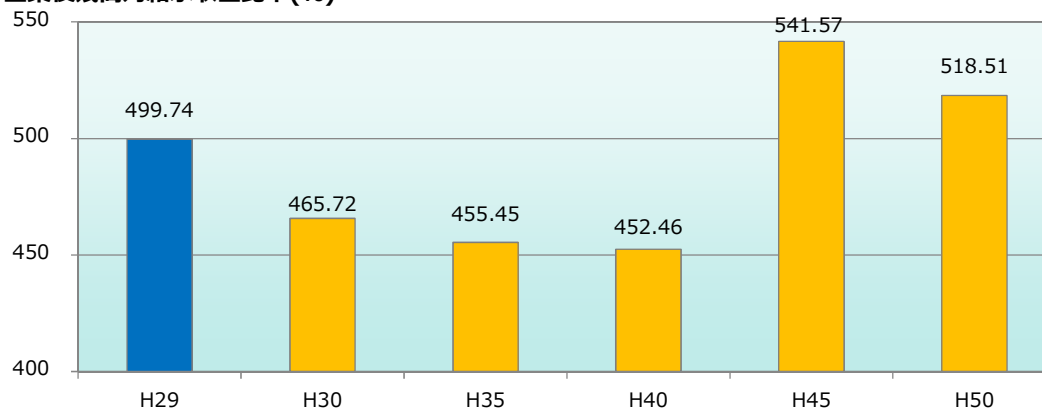


② 企業債残高対給水収益比率 (%) : 望ましい向き「↓」

企業債残高対給水収益比率は、短期、中期整備までは減少傾向にあるものの、将来においては増加する見通しです。

▶ 今後は、企業債への依存度を抑制するために、事業費に応じて、適切な程度には、給水収益等の自己資金から調達する必要があります。

企業債残高対給水収益比率(%)

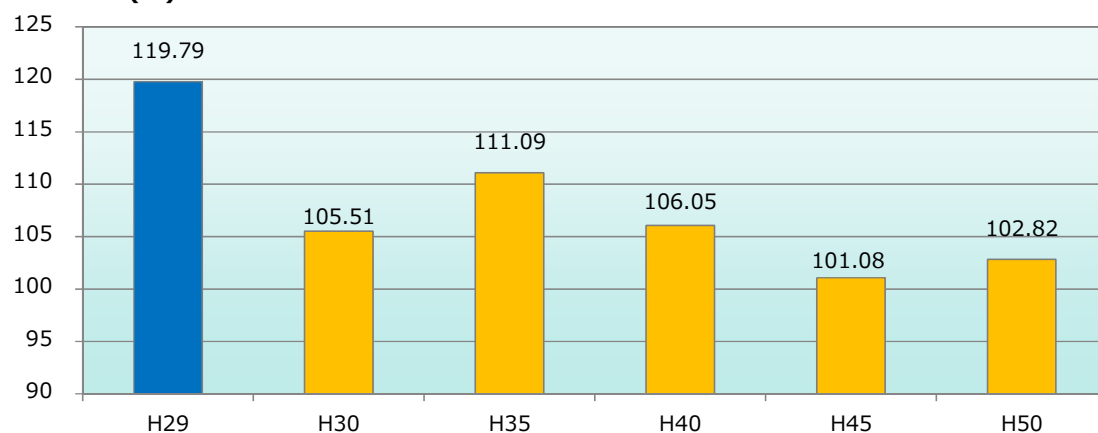


③料金回収率(%) : 望ましい向き「↑」

料金回収率は、100%を超えているものの、将来において減少していく見通しです。

▶ 今後は、事業の進捗状況と収支バランスを考慮しながら、定期的に水道料金の見直しを行い、経営の健全性を維持していく必要があります。

料金回収率(%)

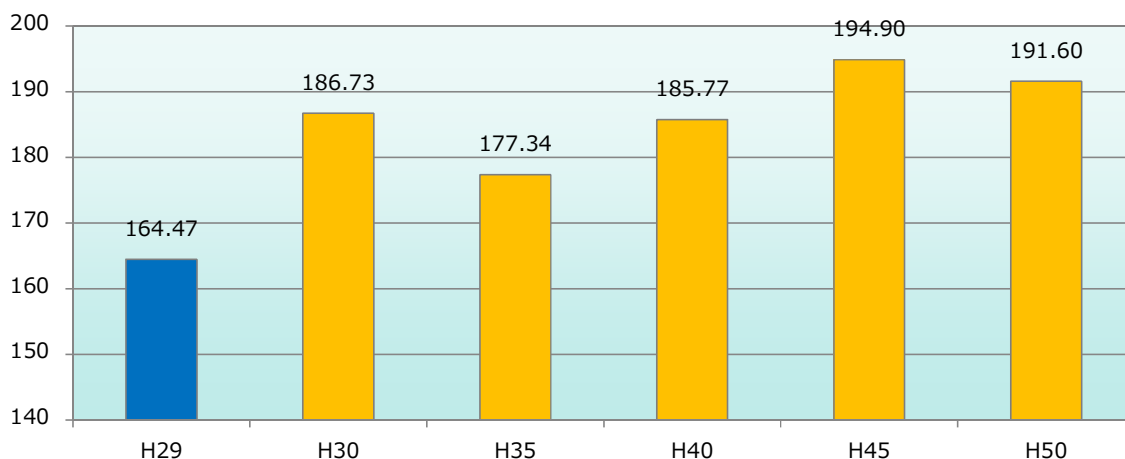


④給水原価(円/m³) : 望ましい向き「↓」

給水原価は、将来において、増加していく見通しです。

▶ 今後は、民間活力の活用や広域化連携に取り組むことにより、経費削減に取り組んでいく必要があります。

給水原価(円/m³)

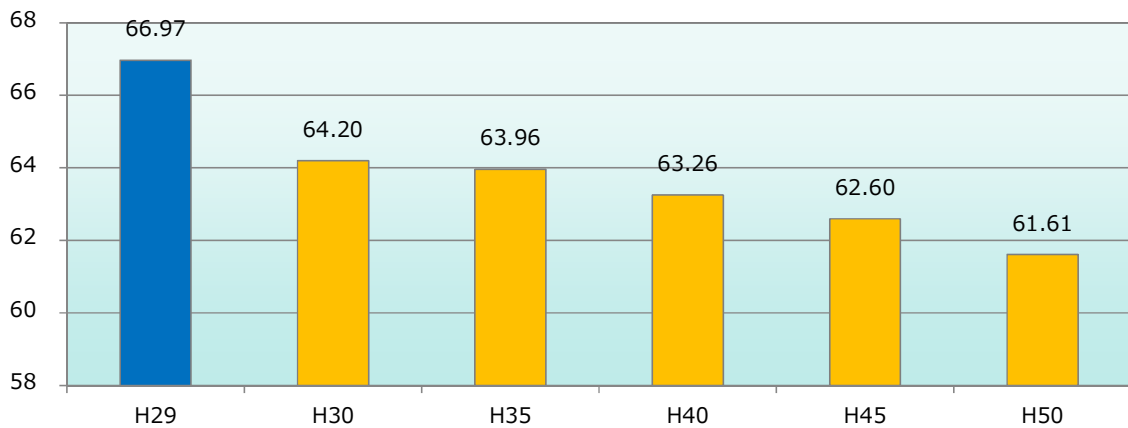


⑤施設利用率 (%) : 望ましい向き「↑」

施設利用率は、将来において、減少していく見通しです。

▶地震等の災害時にも安定給水が可能な施設能力を確保した上で、将来の水需要量に応じたダウンサイジングや施設統廃合を進めることで、施設規模の適正化を図る必要があります。

施設利用率 (%)

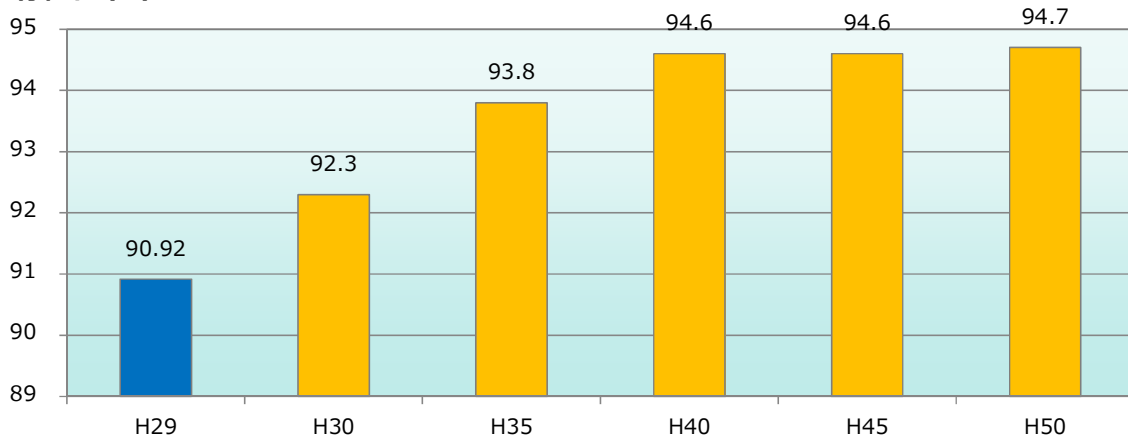


⑥有収率 (%) : 望ましい向き「↑」

平成 30 年度に策定した管路更新計画に基づき、更新整備を進めることで、漏水量を減らし、有収率は将来において、増加していく見通しです。

▶今後は、管路更新計画を着実に実施していきます。

有収率 (%)

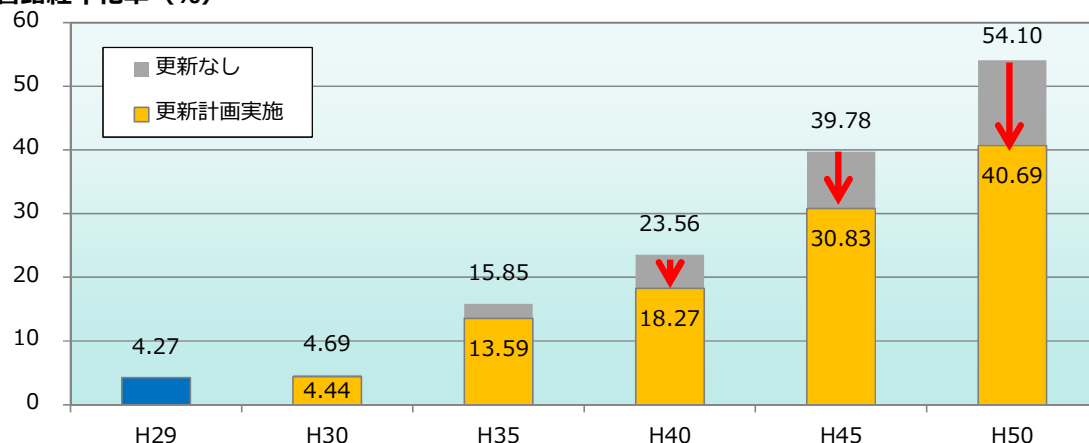


⑦管路経年化率(%) : 望ましい向き「↓」

今後、1980年代に布設された管路の多くが法定耐用年数を迎えるため、管路経年化率は大幅に増加することが見込まれます。ただし、前述の「④有収率」で述べた管路更新計画に基づき、効率的に更新整備を進めることで、管路経年化率は更新しない場合と比較して、平成35(2023)年度で2.26%、平成40(2028)年度で5.29%、平成50(2038)年度で13.41%抑制される見通しです。

▶「⑥有収率」と同様に、今後は、管路更新計画を着実に実施していきます。

管路経年化率(%)

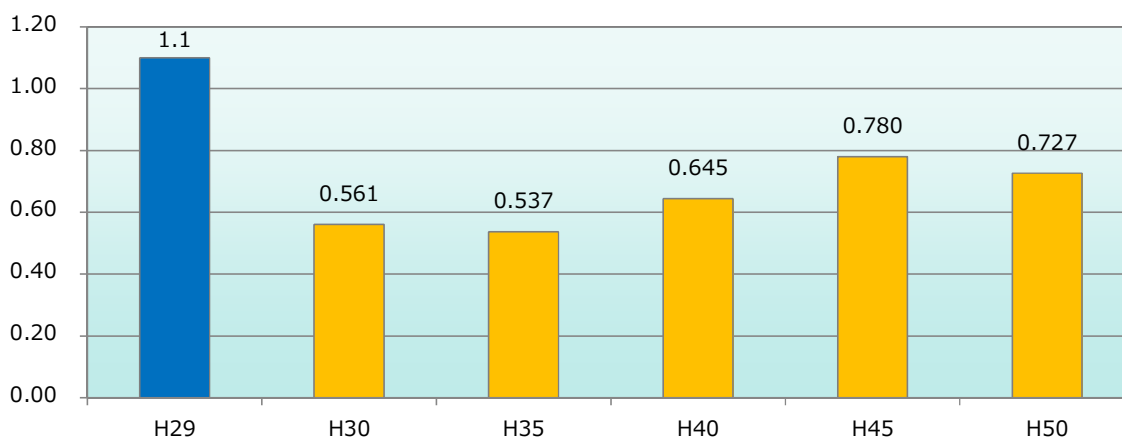


⑧管路の更新率(%) : 望ましい向き「↑」

更新率は、前述の「④有収率」で述べた管路更新計画に基づき整備を進めることで、0.5~0.7%で推移していく見通しです。

▶管路更新計画は、老朽化や耐震化、重要度等の総合的な視点から優先度順位を設定した上で策定した計画であり、効率的な施設整備が可能となります。具体的には、今後10年間で病院や学校等の応急給水拠点へ配水している老朽管(図9.1.1)が全て更新されるため、早期に応急給水拠点までの配水管の強靱化が実現します。

管路の更新率(%)



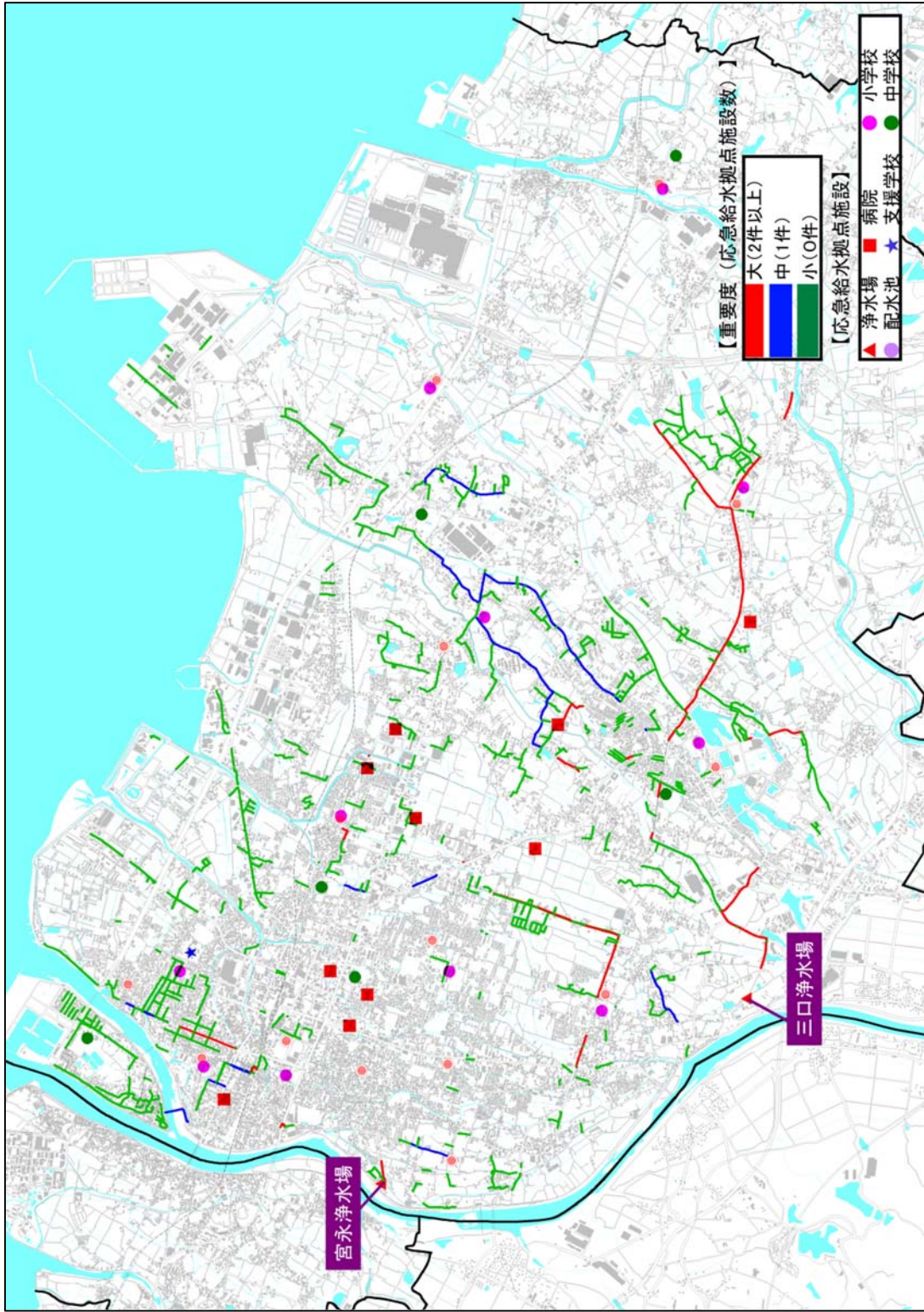


図 9.1.1 管路更新計画における重要度別管路及び応急給水拠点施設位置図

9-2 進捗管理の方法

各施策の進捗状況管理は、前述のロードマップの活用を基本に、毎年度各事業の実施状況や進捗具合を評価し、適切に管理していきます。

また、水道事業ガイドラインの業務指標（PI）などを用いて定量的に評価・検討するほか、定期的にアンケート調査を実施し、水道を利用する市民の皆様のニーズを施策に反映させていきます。

9-3 水道ビジョンのレビュー

前述のロードマップでは、各推進方策における具体的施策別の実施スケジュールを計画しています。これらの各施策をより実効性のある計画とするために、定期的に施策のフォローアップを実施します。

フォローアップの実施は、次図に示す PDCA サイクルによるものとし、事業を推進していく中で、短期、中期毎に、取り組みの方向性確認や、重点的方策の見直し検討を行い、適宜、本水道ビジョンのレビューと見直しを実施していきます。



図 9.3.1 PDCA サイクル